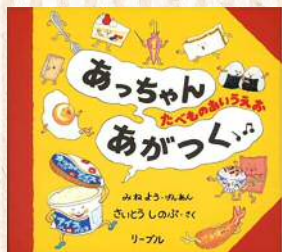


大好き！絵本

初瀬 恵美



『あっちゃん あがつく
たべものあいうえお』
げんあん:みね よう
さく:さいとう しのぶ
出版社:リーブル

今、子どもたちに大人気の絵本の一つに『あっちゃん あがつく たべものあいうえお』があります。

表紙をご覧になると分かるように、愛嬌がある食べ物のイラストたちが、たまらなく可愛い絵本です。それぞれのページにそれぞれのストーリーがあり、食べ物たちが生き生きと描かれています。その食べ物たちは子どもたちが大好きなアイスクリームやチョコレート、ケーキなどが目白押しのため、「次のページは何があるんだろう」「はやく次のページがみたい！」という子どもと、目の前に広がる絵本の世界に釘付けで、「あ!!●●があった。」「●●してるね~(笑)」「●●がいい~！」とおしゃべりがとまらない子どもと2極化するほどです。

文の原案者である「みね よう(峯陽)氏」は、「おばけなんてないさ」の作曲者の方です。余談ですが峯氏の本名は「上坪陽」で作曲は「峰陽」、作詞は「ともろぎゆきお」というペンネームを使用されているそうです。ですから、絵本の最後の方のページに楽譜がのっていますが、作詞は「ともろぎゆきお・さいとうしのぶ」作曲は「峰陽」となっています。作詞・作曲ができる方が原案を担当されているため、歌いながら遊ぶことができるリズムカルな絵本となっているのかもしれない。

「あいうえお」絵本というと「あ」から「ん」までの50音をイメージする方が多いと思いますが、なんとこの絵本は「ぼ」とか「ぽ」などの半濁音も掲載されており、全部で69音盛り込まれています。言葉にイラストそして、リズムで楽しみながら、お子さんと一緒に日本の言語を楽しんでもらえたらと思います。

また、この絵本の最後には「あなたは●ちゃん? ●ではじまるたべものは? じぶんのページをつくってみてね!!」と記載があり、「●ちゃん ●がつく(空欄・自由記載スペース)」と自分の名前で、発想を楽しむページがあります。こういう、遊び心や深く考える時間がある絵本って、素敵だと思いませんか? ぜひ、お子さんと一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。



お誕生日
おめでとう